

令和3年度（2021年度）

事業報告書

令和4年6月23日

社会福祉法人 四幸舎和会

法人本部事業報告

【令和3年度の総括】

新型コロナウイルスの感染拡大が始まって2年目に入りました。年度初めの4月に3回目の緊急事態宣言が発出された後、まん延防止措置が2回延長され、さらに8月2日から4回目の緊急事態宣言へと続きました。年間を通して、法人運営並びに利用者支援に多くの影響を受けました。利用者及びスタッフのワクチン接種に関して、能勢エリアは7月9日に1回目のワクチン接種、同月30日に2回目の接種を行い、年明けの2月6日に3回目のワクチン接種を完了しました。池田・豊中エリアは能勢エリアよりそれぞれひと月遅れで、接種完了しました。幸いにも、くりのみ園及び能勢ホーム、池田ホームの居住系事業所において利用者の感染はなく、クラスターも発生しませんでした。

令和2年度にメンタル疾患で1名の退職者が出たことを重く受け、法人においてメンタルヘルス研修を行う予定でしたが、年度初めから2名のスタッフが休職（4月、6月）し、その内1名が休職期間満了後に退職しました。また、労災事故が4件（9月に支援員補助が外作業中に脚立から転落し、3月には能勢ホームにて世話人が椅子から転倒しそれぞれ骨折事故。他2件は支援中に怪我を負った）発生した。社会保険労務士事務所との定例訪問時（月1回）に、メンタルヘルスを含む、法人内の労務管理上のアドバイスを受け、個々の事案の対応を行いました。

平成28年11月以来実施されていなかった大阪府の法人監査（9月6日）がリモートで行われました。法人本部の運営に関しての指摘事項はなく、セブン&チェリー合併時における会計処理の一部に指摘がありました。

1 令和3年度 運営方針の報告

(1) 役員の一部改選

第5回定時評議員会において、理事3名、監事2名が選任され監事2名の内1名（社会福祉会計に識見を要するもの）を新しく役員に迎えました。

(2) 事業収支の見直し等を図る

事業活動計算書のサービス活動増減差額がプラス118万円（昨年度3267万円）の黒字でした。重度障害者支援加算を取りこぼしなく取得する等、収入額は前年比より2000万円の増額でしたが、人件費が前年比3126万円増える（4月1日に正規職員7名採用）など支出が増えたことで黒字幅が縮小しました。

社会福祉充実残額は事業活動支出が昨年比より増えたため、引き続きマイナス計上となり社会福祉充実計画策定の必要はありませんでした。

(3) 第Ⅲ期事業計画の推進

① 新規事業所の開設

6月にくりのみ園の従たる事業所として、かたやまの赤いやねが開所しました。当初11月に主たる事業所へ指定変更する方向で運営していましたが、法人全体の職員配置の事情で断念し、次年度4月に指定変更を行います。

② 池田・豊中エリアの検討

7月に池田市（鉢塚）の土地所有者が、障がい者のためのグループホームを借り上げ方式（積水方式）で4戸建設する意向を示され、当法人を含む複数法人が手を挙げ、2月22日に建物賃貸借契約を締結しました。令和5年5月末引き渡しのスケジュールで動きます。

(4) 人材確保・育成・定着を図る

コロナ禍の中、感染状況によってオンラインや対面での説明会や見学会を実施し、4名の学生から内定承諾を受けました。内定辞退がないようフォローアップに努め最終的に3名入職という結果になりました。若手中心の学卒者採用委員会の取り組みを引き続き進めて参ります。

(表-1)

	令和3年度	令和2年度	31年度数	30年度数
キャリア合同説明会接触者数			28名	
FACE to FUKUSHI インターンシップフェア	35名	14名	26名	
インターンシップ数	2名	2名	2名	0名
大阪府社会福祉協議会フェア 接触者数				
FACE to FUKUSHI 就職フェア 接触数	37名	43名	31名	40名
法人独自説明会参加者数	17名	9名	17名	10名
採用応募者数	6名	7名	5名	3名
内定承諾者数	4名	5名	3名	2名
入職予定者数	3名	5名	1名	1名

(5) 社会・地域貢献に積極的に取り組む

独居高齢者へ向けた社会福祉協議会の配食サービスをくりのみ園（毎週月曜日）、おおざとの赤いやね（隔週火曜日）が継続して参画しました。また、中間的就労（就労訓練事業）の非雇用型で就労訓練を行ったケースと雇用契約（支援員補助）しました。

生活困窮レスキュー事業は4件の相談に対し、3件レスキュー対応の結果、課題解決の終結に至りました。もう1件は継続対応中です。能勢町から委託を受けている地域のCSWの活動も田尻地区と久佐々地区を担当し地域のニーズに応えました。

また、能勢町の高齢者の居場所づくりであるオレンジカフェの送迎についてもスタッフを派遣し地域貢献に取り組みました。

(表-2)

生活困窮レスキュー事業（大阪しあわせネットワーク）			
①	4月	男性（65歳）	コロナ禍による収入減のため水光熱等の支払いが滞り、一部負担する。
②	10月	男性（83歳）	認知症。債務過多で借金生活。食費、診療費を支援。高齢サービスへつなげる。
③	2月	男性（54歳）	病気のため休職し生活困窮となる。診療費を負担する。復職確認し終結。
④	3月	女性（25歳）	DV被害者。引っ越し費用等の避難支援。継続中。

(6) リスクマネジメントを強化する

各事業所においてリスクマネジメントの徹底を図っていましたが、2月11日深夜、くりのみ園において利用者同士の傷害事故がありました。法人事故防止委員会を緊急招集して、事故の検証と再発防止策を検討し情報を発信しました。

過去の事故検証委員会の提言の一つであった、「家族が安心できるよう関係を深める」に沿って、10月23日に家族協同研修会をリモートで開催しました。

2 職員動静について

4月1日に法人採用（新卒者5名、中途採用者2名）し期首職員数（正規職員）は43名で年度内に3名が退職（メンタル不調による者1名、家庭の事情等2名）し離職率は6.9%と高くなりました。過去5年間の正規職員の離職率は、（表-3）のとおりです。

(表-3)

年度	期首職員数	退職者数	離職率
H29	31人	2人	6.5%
H30	33人	0人	0.0%
R元	35人	2人	5.7%
R2	36人	1人	2.7%
R3	43人	3人	6.9%

*参考(令和2年度介護労働実態調査：介護職離職率 14.9%)

3 理事会・評議員会の開催について

第5回定時評議員会を6月に開催し、定款変更に伴う書面評議員会も行いました。また、理事会は書面理事会を含み5回開催しました。議案の内容は（表-4）、（表-5）のとおりです。

【評議員会】

(表-4)

会議名	日時	議案等の内容
第5回 定時評議委員会	令和3年 6月17日(木)	第1号議案「令和2年度事業報告書(案)の承認」について 第2号議案「令和2年度決算報告書(案)の承認」について 令和2年度社会福祉充実残額の承認 ・監事監査報告(令和3年5月21日) 第3号議案「改選理事・監事の選任」について 第4号議案「定款変更(案)の承認」について その他 ・特定相談支援事業所の名称について ・くりのみ園利用者Hさんの現状報告
(書面) 評議員会		第1号議案「かたやまの赤いやねの主たる事業所への 事業指定に係る定款変更(案)の承認」について

【理事会】

(表-5)

	会議名	日時	議案等の内容
第1回	理事会	令和3年 6月2日(水)	第1号議案「令和2年度事業報告書(案)」について 第2号議案「令和2年度決算報告書(案)」について 令和元2年度社会福祉充実残額の報告 監事監査報告(令和3年5月21日) 第3号議案「理事・監事の選定及び施設長の任免」について 第4号議案「定款変更(案)」について 第5号議案「第5回定時評議員会の議案及び開催日程等の承認」 について 第6号議案「経理規程の一部変更」について その他 ・特定相談支援事業所の名称について ・くりのみ園利用者Hさんの現状報告 ・第2回理事会の開催について
第2回	(書面) 理事会		第1号議案「代表理事及び業務執行理事の互選」について
第3回	理事会	令和3年 12月1日(水)	第1号議案「くりのみホーム(池田市)の今後の展開 ーグループホームー括借り上げ方式ー」について 第2号議案「かたやまの赤いやね関連」 1「独立行政法人福祉医療機構との金銭消費貸借 契約」について 2「かたやまの赤いやねの主たる事業所への指定 延期」について

			その他 <ul style="list-style-type: none"> ・府法人指導課による法人監査（10月22日）報告 ・利用者Hさんの現状報告 ・理事報酬の支払い方法の変更について
第4回	（書面） 理 事 会		第1号議案「かたやまの赤いやねの主たる事業所への事業指定に係る定款変更（案）の承認」について
第5回	理事会	令和4年 3月24日（木）	第1号議案「令和4年度事業計画書（案）の承認」について 第2号議案「令和3年度補正予算（案）及び令和4年度当初予算（案）の承認」について 第3号議案「くりのみホームはちづか（仮称）の開設及び倉垣ホームの検討」について 第4号議案「介護職員等処遇改善支給補助金給付に係る賃金規程の一部変更」について 第5号議案「団体役員賠償責任補償制度への加入」について その他 <ul style="list-style-type: none"> ・役員（理事）の一部改選について ・屋上防水工事について ・くりのみ園において利用者同士の暴力事故について ・利用者Hさんの現状報告等について ・今後の理事会等の開催日程の確認について

4 法人委員会の取組

各委員会の取組等は、（表-6）、（表-7）のとおりです。

（表-6）

法人研修委員会	（開 催） 毎月1回	目的「法人事業所・スタッフのスキルアップを統括する」 コンサルテーションの進捗管理。公開講座、実践報告会の企画・運営した。 法人研修プログラムを作成した。個別支援計画の質的向上の検討を行った。
事故防止委員会	（開 催） 3ヶ月に1回	目的「各事業所の安心・安全な運営をめざす」 各事業所の事故、ヒヤリハットを検証しフィードバックを行った。 事故防止に係る法人研修を企画した。 2月にくりのみ園で発生した事故について緊急開催（2/28）し、事故検証を行った。
虐待防止委員会	（開 催） 3ヶ月に1回	目的「利用者の人権を守り、虐待や不適切な支援を起こさない組織や事業所をめざす」 ・スタッフ自己評価による不適切な支援（グレーゾーン）への意識向上を図った。 ・身体拘束に関して議論を深め各事業所へフィードバックを行うとともに、マニュアル作成をフィードバックした。

非常対策委員会	7月、10月 1月	<p>目的「防災等に備え事業継続できる体制を構築委する」</p> <ul style="list-style-type: none"> • BCP（事業継続計画）の策定を行った。 • コロナ禍における、今後の対応について協議した。 • 安否確認運用及び訓練を行った。
学卒採用委員会	5月、6月 7月、8月 10月、11月 1月、2月	<p>目的「新規学卒者の人材確保に努める」</p> <ul style="list-style-type: none"> • F2F 福祉フェア等へ参加し法人説明会へ誘導した。 • 大学訪問（桃山学院大学、仏教大学、大阪人間科学大学、関西福祉大学）を行った。 • 内定者のフォローアップ（研修会、座談会、内定式）を行った。

（表一七）

<p>第8回社会福祉法人 四幸舎和会 実践報告会</p> <p>と き：令和3年11月20日（土） ＊リモート開催</p>
<p>報告1 『一人の利用者の支援を通して、これから目指していくこと』</p> <p>発題者：谷口（セブン&チェリー作業所）</p>
<p>報告2 『休日も安心できる生活に向けて』</p> <p>発題者：壽（くりのみ園）</p>
<p>報告3 『本人の「わかる」を作る』 一注目が強い方への見通しの伝え方</p> <p>発題者：桑原（従たる事業所かたやまの赤いやね）</p>